



豊岡区 自治会役員の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

3月14日 豊岡区の皆さん10名の方に参加していただき、住民原子力懇談会を実施しました。

日本原子力発電株式会社の施設を見学し、震災後の安全対策を中心に、活発な議論が行われました。

<住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、住民・原子力事業所・行政が施設見学や意見交換を行うことにより、相互理解を深め、原子力安全行政の充実及び原子力安全対策の拡充に寄与することを目的に、平成20年度から行っているものです。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災による原子力発電所への影響と今後の安全対策について、現場見学を含め、活発な質疑応答が行われました。

見学会では、津波の影響で停止した海水ポンプとその周辺や、福島第一原子力発電所の事故を教訓に増やされた電源車やポンプ車・ホース車、水密扉や免震棟を確認しました。訓練など原電内の活動を村民に伝える努力が必要との意見が豊岡区の皆さんから出されました。

原子力安全対策課に対しては、放射線測定の実験のほか、自ら訓練に参加するなど、積極的に原子力安全に取り組むことが求められました。

今回の懇談会には昨年9月に発足した原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所の所長、副所長も同席し、国の方針について説明していただきました。



<豊岡区 住民原子力懇談会 実施概要>

平成25年3月14日（木）13時～16時30分

見学会 13時～14時50分

原電テラパーク内会議室で概要説明

現場見学

電源車・ポンプ車等配備状況

水密扉、免震棟

海水ポンプエリアなど

懇談会 15時～16時30分

原電テラパーク内 会議室